

当院で頭頸部がん術後再建後の局所再発に対して重粒子線治療をお受けになった皆様へ  
(「頭頸部がん術後再建後の局所再発に対する重粒子線治療の遡及的解析」研究に関する情報)

当院では頭頸部がん術後再建後の局所再発に対する重粒子線治療を行っております。再建術とは手術で腫瘍を切除したところの欠損部に対して、機能および整容面の回復を行うために、ご自身の体の一部の組織を移植する手術の事です。これまで、頭頸部がん術後再建後の局所再発に対する重粒子線治療についてまとまった報告はほとんどなく、有効性（どのくらいの効果があったか）や安全性（照射後に出てきた副作用）の解析は十分には行われておりません。これからの治療に役立てるために、これまでの頭頸部がん術後再建後の局所再発に対する重粒子線治療について、詳しく調べる必要があると考えています。

この研究は、頭頸部がん術後再建後の局所再発に対する重粒子線治療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究では、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんお一人ずつに直接説明を行って同意を得る代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先：窓口」へご照会ください。

もし、詳しいことをご存知になりたい場合には、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。また、個人情報保護法に基づく開示手続き等を希望される場合にはお申し出ください。

本研究にご自分のデータを使用してほしくない方（又はご家族もしくは代理の方）は、利用を停止しますので2021年7月31日までに下記[問い合わせ先：窓口]へお申し出ください。データ利用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。なお、上記期間を過ぎても問い合わせをお受けしますが、既に論文等で発表されている場合には取り除くことができません。その場合も患者様の個人情報公表されることは一切ありません。

[研究課題名] 頭頸部がん術後再建後の局所再発に対する重粒子線治療の遡及的解析

[研究機関] 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 QST病院

[研究責任者] 伊川 裕明

[研究の目的] 当院において頭頸部がん術後再建後の局所再発に対して行われた重粒子線治療の成績や治療後の経過を解析して、その安全性と治療効果を評価することです。

[研究の方法]

●対象となる方々

頭頸部がん術後再建後の局所再発に対して1997年4月から 2020年10月までに重粒子線治療が行われた方。

●利用する情報

(別添)

重粒子線治療で得られた、診断名、病状、年齢、性別、重粒子線治療の内容、治療後の経過  
重粒子線治療前に行われた腫瘍切除術および再建術の詳細（腫瘍の部位、再建組織の大きさ、再建組織の採取部位や手術日等）

2021年3月までに得られたデータを集計しますので、新たな質問や検査はありません。

[個人情報の取り扱い]

お名前や個人情報が出ることは、一切ありません。

利用する情報からは、お名前、ご住所など、個人を直接同定できる情報は削除します。また、研究成果は、解析した全体の数字として学会や学術雑誌で発表されますが、その際に個人名などが表に出ることは絶対にありません。（研究機関が規定する個人情報保護規程等に従い取り扱います）

[問い合わせ先：窓口]

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 QST病院

担当：伊川裕明

電話：043-206-3306（平日9:00～17:00）